

例会報告：2014年6月17日（晴れ） 第1847回 通常例会

☆ビジター

鈴木 吉兵衛様（小田原RC）

中村 健作様（小田原北RC）

☆会員誕生日

齋藤 永さん（6月18日）

柳井 渉さん（6月19日）

☆ニコニコ箱

上田 博和委員



	ニコニコ箱	累計	目標
6月17日分	25,070	1,140,211	1,300,000

*卓話

守屋 輝彦様…本日はよろしくお祈りします。

*ビジター

鈴木 吉兵衛様（小田原RC）…またまたお邪魔します。近いのでつい・・・。

中村 健作様（小田原北RC）…久しぶりにお世話になります。皆さん宜しく。

*会員誕生日

齋藤 永さん…お誕生日のお祝いありがとうございました。55才になります。GO-GO一。

柳井 渉さん…誕生日を祝っていただきありがとうございます。19日で53才になります。これからもよろしくお祈りします

*奥様誕生日

櫻井 康二さん…河野さん、妻の誕生日に素敵なお花をありがとうございました。

*その他

チャリティプロジェクトリーダー柳井 渉・社会奉仕プロジェクトリーダー志澤 昌彦さん…6月15日に小田原城址公園の紫陽花菖蒲祭りにおいて、チャリティ販売会を行いました。露木会長はじめ執行部の皆様、守屋さん、太田さん、清さん、中村さん、齋藤エレクト、須藤さん、ご協力ありがとうございました。又、エンド・ポリオ・ナウのイベントでは、相澤ガバナーはじめ、井島ガバナー補佐、第9グループ各クラブの皆様、相洋高校インターアクトの皆様、立花学園インターアクトの皆様にも大変ご協力をいただきました。多くの皆様のおかげで無事に完売することが出来ました。この売上はアール・ド・ヴィーヴルさんに寄付を行います。

鈴木 友徳さん…イギリスに行ってきました。カンタベリ大聖堂にウエストミンスター寺院。エリザベスの誕生日にあたり、パレードを見る事ができました。素晴らしいかったです。後程写真をお見せします。

河野 秀雄さん…我がクラブの社会奉仕。アール・ド・ヴィーヴルの支援、今日の神静民報の記事。志澤君他委員の方々ご苦労様でした。真のロータリーの社会奉仕ですね。

菊地 義雄・太田 忠・本多 純二・小川 和夫・齋藤 永さん…鶴竜の横綱昇進祝賀会へ参加して来ました。1000人超のパーティーでものすごかったです。ロカ君に会い、皆さんによろしくとの事です。打ち上げの残金を少々。

小嶋 章司さん…14日～15日以前から予定を組んでいた尾瀬に行ってきました。クラブのイベント欠席で申し訳ございません。尾瀬の水芭蕉は少し遅かったです。

阿久津 馨さん…6月16日、少し良い事があったので。

■ ■ ■ 今後のメーキャップ情報 ■ ■ ■

-2014年6月-

- ▶25日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話:クラブ協議会」
- ▶26日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
「卓話:執行部一年間を振り返って」
- ▶27日(金) 湯河原 ニューウエルシティ湯河原 12:30
「卓話:クラブ協議会」
足柄 おんりーゆー 12:30
「卓話:クラブ協議会・事務引継」
- ▶30日(月) 小田原 報徳会館 12:30
「卓話:古屋 富雄南足柄市農業委員会事務局長/未定」

-2014年7月-

- ▶1日(火) 箱根 宮ノ下富士屋ホテル 12:30
「卓話:/」
- ▶2日(水) 小田原北 河鹿荘 年初例会 15:00
「卓話:/」
- ▶3日(木) 小田原中 だるま 年初例会 17:00
総会・協議会
- ▶4日(金) 湯河原 ニューウエルシティ湯河原 12:30
「卓話:/」
足柄 わかふじ 年初例会 18:00
「卓話:/」
- ▶7日(月) 小田原 報徳会館 12:30
「クラブ協議会 2014-15年度 活動計画発表」
- ▶9日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話:生沼富治バスターガバナー」
- ▶10日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
卓話:地区公共イメージ委員長 佐々木辰郎様
「公共イメージとは」
- ▶11日(金) 足柄 おんりーゆー 12:30
- ▶14日(月) 小田原 吉池 年初例会 17:00
「クラブ協議会・会員親睦会（委員会活動計画発表）」

※年度の切り替わりのため、確認のとれている予定のみの掲載となります。

【小田原城北ロータリー・クラブ】
事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9
電話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377
URL：http://www.odawarajhrc.jp
Mail：info@odawarajhrc.jp
例会場：小田原卸センター内会議室
創立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日
例会：毎週火曜日 12:30～13:30
クラブ会報委員会
監修：金山 農昭
編集長：久保田 知子
コピーライター：大川 誠
デザイン：小林 和彦
フィールド：小川 和夫・志澤 昌彦

会員数：46名



国際ロータリー第2780地区

小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780
ODAWARA JOHOKU R.C.
2013-2014
WEEKLY BULLETIN



【R.I. 会長】
ロン D. バートン
【R.I. 2780地区ガバナー】
相澤 光春
【第9グループガバナー補佐】
井島 誠行



【会長】露木 清勝
【副会長】須賀 俊和
【幹事】金山 農昭
【副幹事】木村 頼弘
【会場監督】杉崎 勝成

ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

本日の例会：通常例会（第1848回）

会場：小田原卸センター内会議室

日時：2014年6月24日 12:20～13:40

司会：木村 頼弘 副幹事

12:30	開会点鐘：露木 清勝会長 ロータリーソング斉唱 「それでこそロータリー」 スピーカーおよびビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告／出席報告／委員会報告 同好会報告／ニコニコ箱
13:00	担当：執行部 卓話：執行部 「内容:この一年を振り返って」
13:30	閉会点鐘：露木 清勝会長

【今後の例会・卓話スケジュール】

7月1日 年初例会 15:00 (クラブ協議会)
理事会開催14:00～15:00

会場:報徳会館

例会:15:00～18:00

年初例会・会計報告・クラブ協議会

懇親会 :18:10～20:00

7月8日 通常例会 12:30

担当: 齋藤 永会長

卓話:舞妓茶舗

「内容:未定」

7月15日 通常例会 12:30

担当: 柳井 渉

卓話:Abby Geddes交換留学生

「内容:日本で1年間暮らした感想は? Σ(´▽`;)」

7月22日 通常例会 12:30

担当: 柳井 渉

卓話:鈴木 進

「内容:未定」

チャリティ贈呈式

6月20日 露木会長、チャリティプロジェクト柳井リーダー、社会奉仕プロジェクト志澤リーダーにて、萩原代表にチャリティ収益金（12万円）を寄付しました。



例会報告：2014年6月17日（晴れ）第1847回 通常例会

会場：小田原卸センター内会議室
日時：2014年6月17日 12：30～13：30

◆ 会長挨拶



露木 清勝 会長

15日の日曜日の、小田原城あじさい花菖蒲まつりにおけるアール・ドゥ・ヴィーヴルチャリティグッズ販売会とエンドポリオナウ募金活動は、晴天にめぐまれ盛況のうちに終了することができました。担当の志澤リーダーと柳井リーダー、また両プロジェクトの皆様方には大変お疲れ様でした。詳しい報告は後ほど行われると思いますが、ローターアクトクラブの地区協議会開催日と重なった当日、忙しい合間を縫って、相澤ガバナリーや井島ガバナリー補佐、地区公共イメージ委員会の皆様方も駆けつけて下さりました。また、第9グループのメンバーの他、相洋高校インターアクトクラブ・立花学園インターアクトクラブのメンバーが20名以上参加して下さいました。大変ありがたいことだと思えました。改めて御礼申し上げます。

また、当日大変印象に残った事がありました。当日現地の会場のテント内で、湯河原ロータークラブの神谷会長エレクトと共にいたところ、一人の初老の男性が話しかけてこられました。「この辺にゴミ箱はありませんか？」その手には空になったペットボトル2本が握られていました。私は、「ゴミはなるべく持ち帰ってほしい」と、「この辺にはありませんね。」と答えてしまいました。そこをすかさず神谷さんは、「私が預かりましょう。」と言ってそのペットボトル2本を受け取りました。「空のペットボトルを持っていたら花を観る気もなくなりますからね。」神谷さんの一言にその初老の男性は、そのペットボトルをおいてお礼を言いながら去って行きました。その男性が、このブースをロータークラブのブースと知っていたかは定かではありません。いや知らない確立が多かったのかもしれない。しかし、ローターの公共イメージと認知度の向上は、こんな所から始まるのかもしれないと勉強させられた一場面でした。

◆ 幹事報告



金山 慶昭 幹事

1)2名の新会員の推薦の件ですが、規定の7日間に異議申し立てがございませんので新会員として所定の手続きを取らせていただきます。
2)15日にあじさい花菖蒲園祭りでのチャリティイベントにご協力ありがとうございました。藤沢のJ・COMの働きがけで小田原ケーブルテレビが取材に来ていただきました。その放映が「デイリー小田原」の中で本日の夜よりあります。本放送は18:00、再放送は19:30 20:30 21:30 23:30 明日の8:15だそうです。何れも15分番組の中での少しの放送かと思いますが、様子が伺えると思いますので是非ご覧になってください。

- 3) 神静民報にも掲載されました。今日は河野さんがその新聞を持ってきてくれましたので回覧いたします。
- 4) 会員名簿作成にあたり新たに顔写真を撮りたい方は例会終了後、大川誠さんが待機していますので宜しくお願いたします。既に新しい顔写真のデータをお持ちの方は大川誠さんにメールで送るか直接お渡しください。
- 5) 活動計画書に記載の関係で7月に今月のメーキャップをされる予定の方は事前に幹事または事務局に今月中に早めにお知らせして下さい。

◆ 出席報告

大木 清 委員

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
6月17日	46(43)	37	2	90.70%
6月10日	46(43)	41	1	97.67%
6月3日	46(42)	37	0	90.48%

【欠席者】 6名
中村 維孝、久保田 知子、内山 修一、志澤 昌彦、石崎 孝
【今回MU】 2名
志澤 昌彦 (6/15 チャリティー)
中村 維孝 (6/15 チャリティー)
【前回MU】 増加なし
【前々回MU】 増加なし

◆ 委員会報告

チャリティープロジェクト・柳井リーダー

6/15、あじさい花菖蒲まつりでアール・ドゥ・ヴィーヴルさんのグッズのチャリティー販売を行い完売しました。売り上げは後日寄附して改めて報告いたします。ご協力ありがとうございました。

次年度執行部・大川幹事

本日6時から澤亭で理事役員引継ぎがありますので、よろしくお願いたします。また、7/1に齋藤年度第1回理事会が報徳会館で開かれます。

次年度執行部・齋藤会長エレクト

ロカ君の希望により鶴竜の横綱昇進パーティーに5名で参加してきました。次年度事業でのモンゴルに関する打合せとして向こうの方とお話ししてきました。不確定ではありますが現地視察も考えていますので、詳細が決まったらご案内します。



◆ Table Flower

- ヒマワリ
 - ラークスパー
 - スプレーカーネーション
 - ベビーハンズ
- ヒマワリの花言葉は「あこがれ」
ラークスパーの花言葉は「信頼」
スプレーカーネーションの花言葉は「感謝」



◆ 卓話

「県西地域活性化プロジェクト」



神奈川県議・守屋 輝彦 様

こちらで地球儀を見て、最近地球儀を見なくなったなと思えました。世界地図もあまり見かけません。物事を世界的な規模で俯瞰して見るのに地球儀は重要な役割を果たします。北九州へ行った時『北九州は日本の西の外れだが、地球儀で見ると東アジアの中心地だ』ということで、アジアへの展開を強めていると聞きました。ロータリークラブに関しては、スリランカで電動車椅子を施設に届けるミッションに同行した際、世界に繋がるRCの存在、世界中で行動するメンバーの視野の広さに感服いたしました。

今日は県西地域活性化についてお話しします。実は6/25に県議会でのこの質問をする予定で原稿を準備しています。そこに「県西地域活性化プロジェクトの伝道師としてあらゆる機会を通じて宣伝をしている」と、ちょうど書いていたところでした。今日も貴重な機会の1つです。

まずこのプロジェクトが何故始まったかの経緯から説明します。黒岩知事は初め太陽光発電利用のエネルギー政策を打ち出しましたが思うようにならず、健康産業を神奈川の成長戦略に据えようと考えました。産業の競争力を上げ、超高齢化社会に向かう神奈川の戦略の中心にする、健康寿命を日本一に伸ばそうと目標を定めます。現在、健康寿命と平均寿命は10歳の差があります。あと1歳健康寿命を伸ばせば日本一になる、そういう健康や医療を神奈川の政策の中心にしようという方向転換しました。具体的な政策をまず打ったのは京浜臨海部活性化プロジェクトです。今はヘルスケア・ニューフロンティアとの名称で国家戦略特区に指定を受けました。京浜臨海部で言い続けたことが首都圏を動かすエネルギーになったということです。次は圏央道沿線の自治体によるさがみロボット特区。ロボット産業に従事する企業や大学が多いからということなのですが、京浜臨海部に対する人材や資金に比べると圧倒的にスケールは小さいです。しかし残るは当然県西地域で、知事も3年目になってようやく活性化の話が出てきました。着手したのが昨年の7月です。私のプロフィールに神奈川県議会での委員会活動を記載していますが、2013年は総務政策常任委員会に所属しています。この委員会が県西地域活性化プロジェクトの役割を担うところで、小田原の私と足柄上郡の杉本先生がいました。議員107人中たった5人しかいない県西地域議員が2人配属されたのは意味があったと思えます。2人で現実路線に結び付けるため、徹底的に議論を重ねました。そこで出てきたキーワードが「未病を治す」です。

しかし未病の定義付けからよく分かりません。国際観光地の箱根などでは「そもそも何故未病を治すのか?」「病」の文字にはマイナスイメージしかない」という意見もありましたし、医師会関係からは「医療行為が伴うのか?」と質問が出たりしました。医師法や薬事法が絡むと規制が多くて難しい。それで“未病”というコンセプトを変えた方が良いのでは、という議論をずいぶんしましたが、言葉はどうしても具体的な形を作ることが重要だと判断しました。黒岩知事は次の選挙では勝つでしょうが、次は分かりません。ということは5年間で県西地域活性化をレールにしっかり乗せたいのです。それができれば知事が変わっても政策の軸を変えることは無いでしょう。議論の末、県西地域活性化プロジェクトを16本の柱にまとめました。お渡しした資料に全て書いてありますのでぜひご覧ください。県のホームページにも詳しい解説が掲載されています。16本のプロジェクトは正直パツとしません。京浜臨海部のように県の予算で世界中から人や企業を集めるのとは比べると貧相です。ではどうやってプロジェクトを動かしていくか?ここからが勝負です。1つはどれだけ金を使うか。24億円の予算がついていますが、23億はインフラ整備です。漁港や道路を直すといったハード面ですが、私はそれでもいいと思っています。ハード面も理屈付けがないと先送りになってしまうので、プロジェクトの一環として予算を取っていくのは必要なことです。もう1つ重要なのは規制緩和です。県版特区という言葉が出てきますが、この言葉を入れ込むことで様々な規制を相手にすることができます。農地法や市街地調整区域の開発許可の問題など、何でも認められるわけではなく必要な部分は緩和を考えていこうということです。マラソンや自転車レースなどスポーツ振興で公道を利用するのは警察のチェックが厳しいのですが、県が定めたプロジェクトの一環と位置付けられれば特例も認められるでしょう。食のイベントも保健所と対等に話し合えるようになります。そういった面が大きな柱を打ち出すことの重要性であり政治の役割です。例えば諏訪の原公園の2期工事は予算が見送られてしまいましたが、県西地域活性化プロジェクトに「都市公園をヘルスケアパークとして使う」とあれば反論できます。決まってしまった政策を変えるチャンスでもあります。いかに自分たちの活動に落とし込んでいくか、やろうと思っていたことに利用するか、ということを考えています。県西地域に風が吹いてきていることは事実ですので、本物の活性化とするためにぜひ皆様からもご提案をお願いします。

